

ノリ養殖環境速報 KH-30-15 (播磨灘)

平成31年3月22日 発行

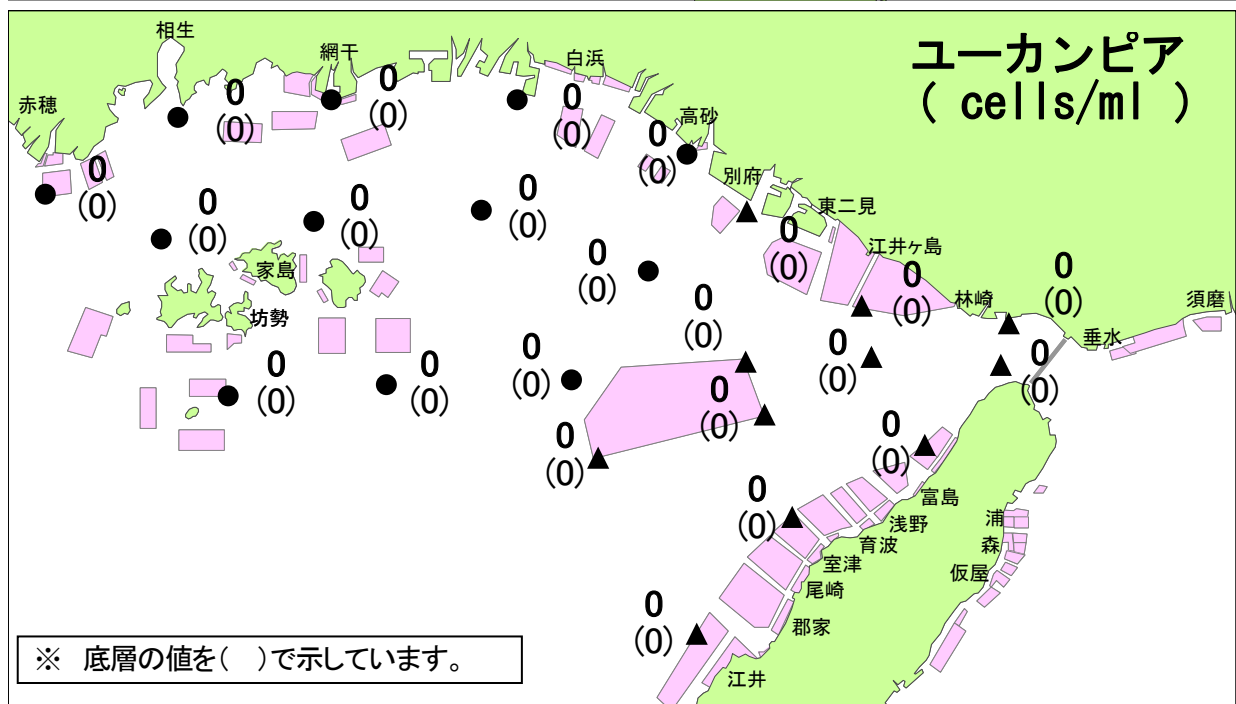
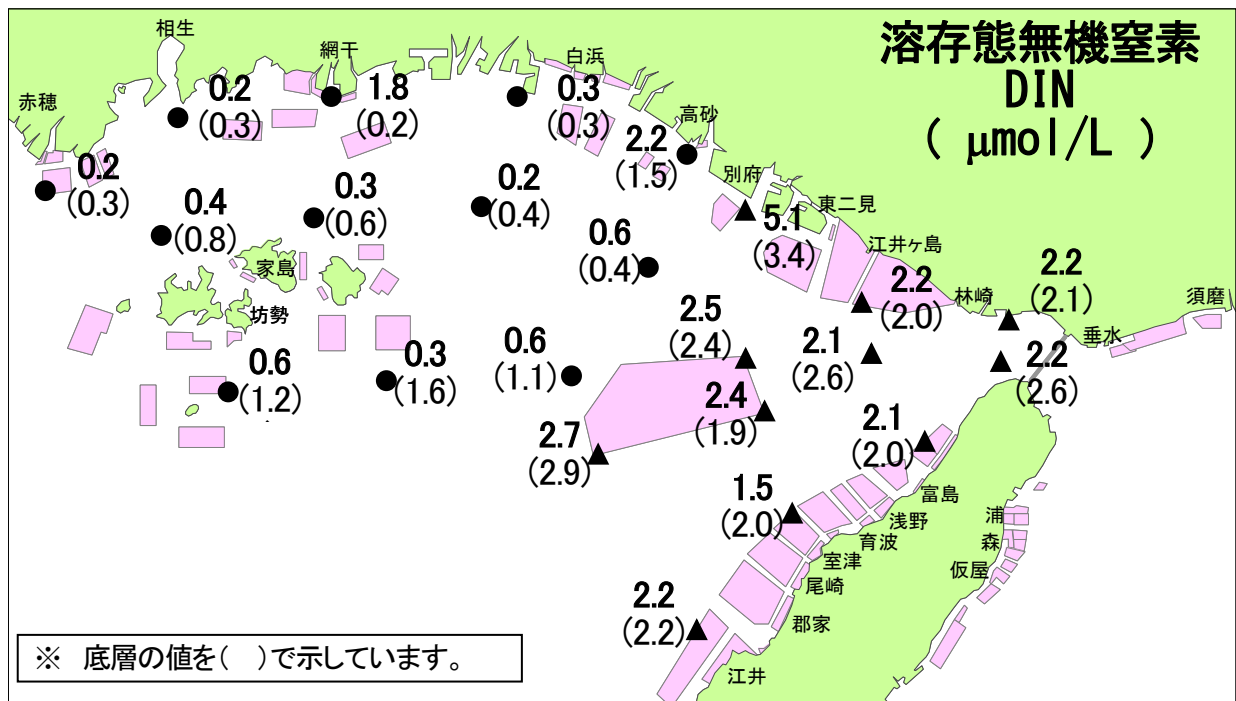
調査年月日：平成31年3月20日

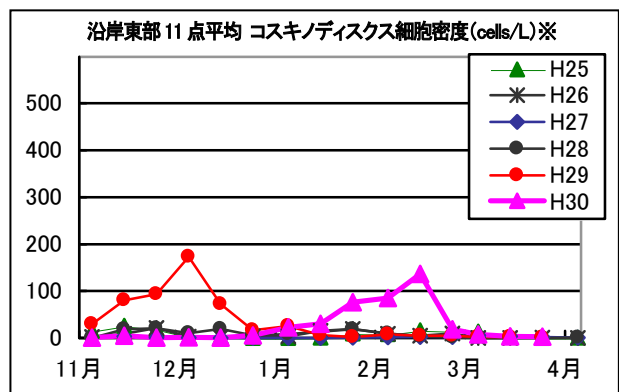
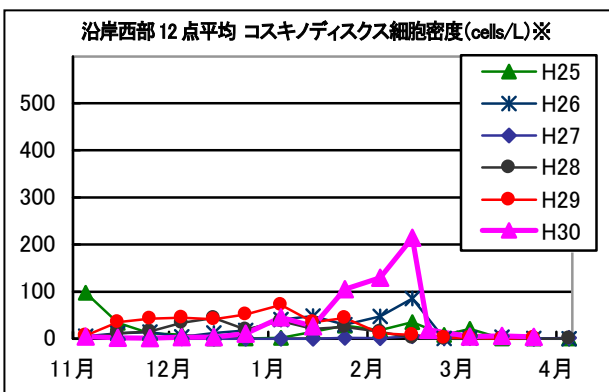
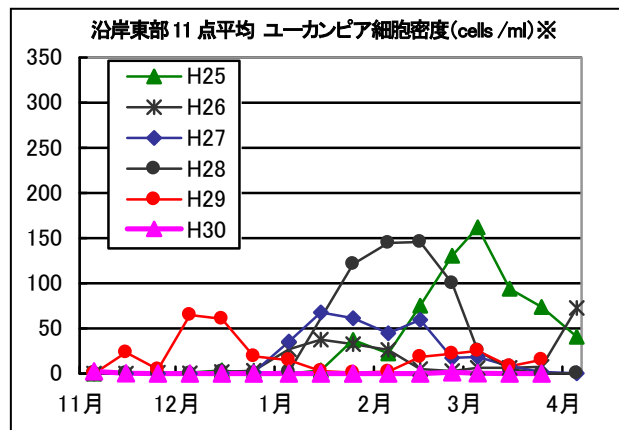
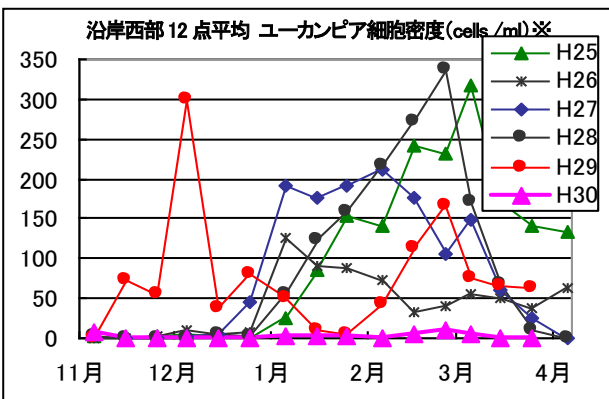
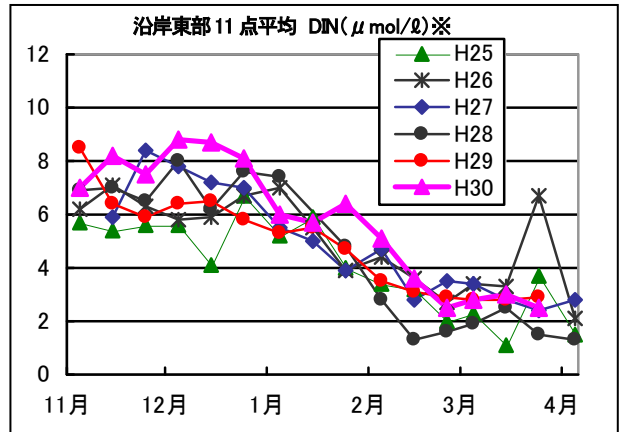
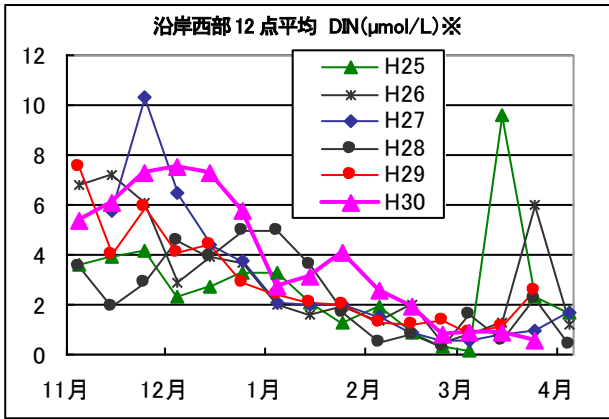
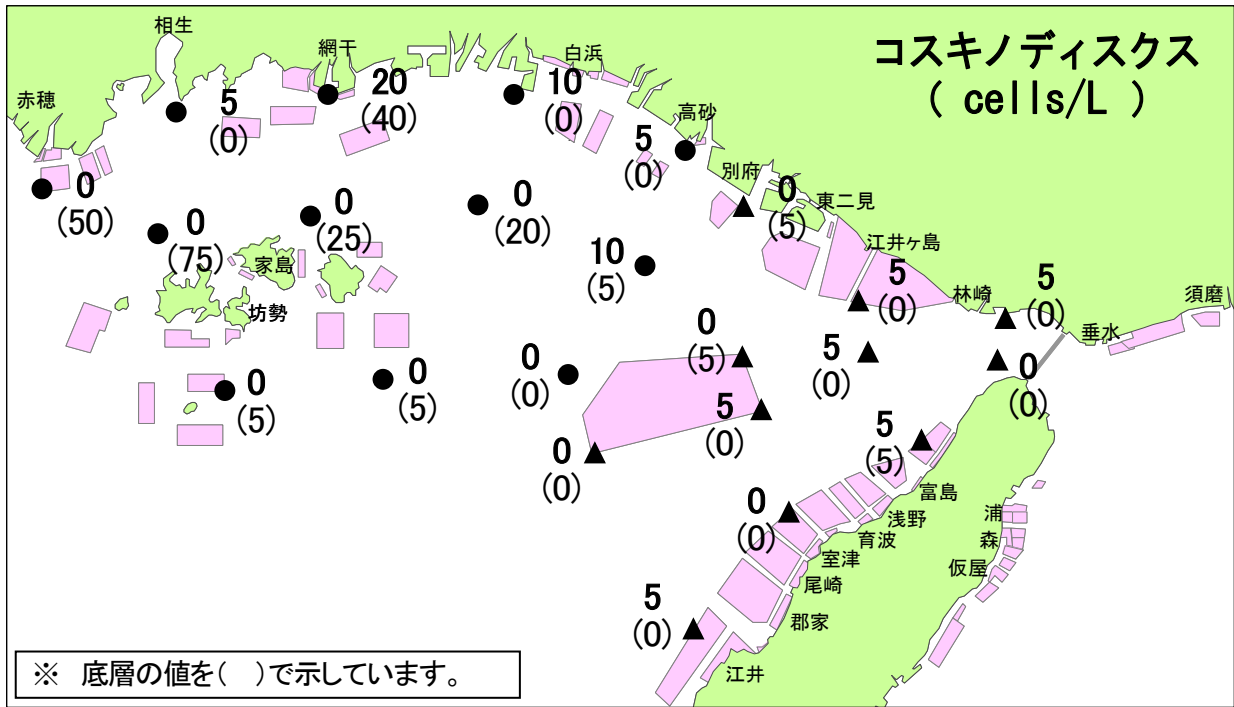
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘北部(調査海域)の表層DIN濃度は、概ね $3\mu\text{mol/L}$ 以下の値で推移しています。北西部沿岸及び西部沖合海域では、 $1\mu\text{mol/L}$ 以下となっています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは確認されていますが、数は少ない状況です。ユーカンピアは確認されませんでした。

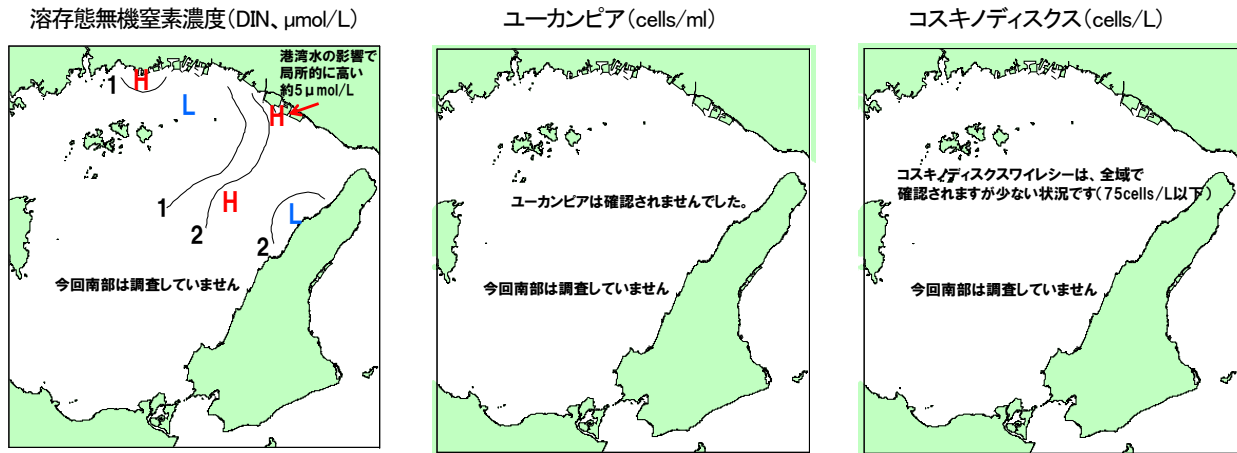
水温は、白浜以西では $10.7\sim 11.5^\circ\text{C}$ 、家島諸島周辺では $11.0\sim 11.2^\circ\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $10.8\sim 11.2^\circ\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $11.2\sim 12.0^\circ\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $11.3\sim 11.6^\circ\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成31年3月20日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部の表層のDIN濃度は、概ね $3\mu\text{mol/L}$ 以下でした。ただし、北西部沿岸及び西部沖合海域では、概ね $1\mu\text{mol/L}$ 以下となっています。大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーはわずかに確認される程度、ユーカンピアは確認されませんでした。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年より少ないとされており、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移はやや低下～現状維持程度と考えられます。

週間天気予報 気象庁 3月21日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすいでしょう。最高気温は、平年並か平年より低い見込みです。最低気温は、22日は平年よりかなり高いですが、その後は平年並か平年より低いでしょう。降水量は、平年より少ない見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の情報は3/4から、香川県の情報は2/26から更新されていません。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
 - ・次回は平成31年4月4日頃に発行する予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>